Corpus Quartal

2027年 冬号　12 €

看護 · セラピー · ルール地方

特集

新サービス：言語療法

言葉がまた出てきやすくなるように。

現場から

一歩ずつ。

Mさんと、外の世界へ戻る道。

Corpus Callosum
Pflege · Therapie · Ruhrgebiet

ようこそ

ようこそお越しくださいました。

私たちは Dortmund の Corpus Callosum です。看護・介護、理学療法、作業療法、言語療法が連携し、ご自宅、介護施設、そして私たちのクリニックで人々を支えています。

近い距離、決まった担当者、話を聞くチーム。それが私たちの目指すことです。今号では、それが日常でどのような形になっているのか、そして私たちの新しい取り組みをご紹介します。

受付（Schützenstraße 150）

今号の内容

目次

03	私たちとは	対話する看護とセラピー
04	特集	新サービス：言語療法
06	看護・介護	住み慣れた家で。しっかりと見守られて。
08	セラピー	理学療法と作業療法
10	季節のヒント	冬を安全に過ごすために
12	現場から	一歩ずつ。Mさんの物語
14	ご家族の方へ	ご家族の体験談
16	ストーリー	生活を取り戻す
18	介護施設の皆さまへ	介護施設でのセラピーと訪問セラピー
20	健康	健康の世界からのニュース
22	私たちのチーム	だから私たちはこの仕事をしています。
23	人材派遣	シフトが回らないときに。
24	お客様の声	Googleのクチコミ99件で4.8つ星
25	私たちについて	フランチャイズパートナー募集
26	お問い合わせ	お電話ください · アクセス
27	法的情報	

私たちとは

対話する看護とセラピー。

私たちのところでは、看護・介護、理学療法、作業療法、言語療法が連携しています。だから、すべてを別々に手配する必要はありません。窓口はひとつ、予約は調整済み、話を聞くチームがいます。

病気の方や介護が必要な方は、どの言語でも理解されたいと願っています。私たちのチームでは12の言語を話します：ドイツ語、英語、トルコ語、クルド語、スペイン語、ギリシャ語、ルーマニア語、アラビア語、ロシア語、ウクライナ語、ポーランド語、ペルシャ語。

私たちの名前

私たちが Corpus Callosum という名前である理由。

脳梁（コーパス・カロッサム）は、左右の脳をつなぐ最大の連絡路です。何百万もの神経線維によって、右脳と左脳がばらばらに働くのではなく、ひとつになって考え、行動できるようにしています。それこそが、私たちがケアで目指していることです。

看護・介護

規則正しさ、信頼、思いやり。毎日頼りにできるもの。

セラピー

動き、知覚、発達。一歩ずつ前に進むための支え。

Corpus Callosum は両者をつなぎます。

私たちのところでは、両者が対話します。だからこの名前を選びました。

特集 · CORPUS CALLOSUM の新しいサービス

これからは、声のためにも。

CORPUS CALLOSUM の新しいサービス

新サービス：言語療法。

私たちの言語療法は、看護・介護、理学療法、作業療法を補い、すべてをワンストップで提供します。

脳卒中の後、たったひとつの言葉が出てこないだけで、世界全体が少し遠くなることがあります。周りの子に分かってもらえず、保育園で黙り込んでしまう子どももいます。そして、うまく飲み込めなくなり、食事が負担になることもあります。

こうしたすべての瞬間のために、Corpus Callosum は言語療法を始めました。看護・介護、理学療法、作業療法と連携して行います。すでに私たちのケアを受けている方は、あなたをよく知るスタッフと調整しながら、言語療法を簡単に追加できます。

練習は落ち着いて、根気よく、そしてよく笑いながら：話すこと、声、飲み込むこと。いつも一人ひとりの目標とペースに合わせて。

言語療法は医師の処方により、かかりつけ医と相談のうえ受けられます。

ご予約・ご質問：本部事務所までどうぞ（お問い合わせページをご覧ください）。

言葉がまた出てきやすくなるように。

私たちの言語療法

- 脳卒中や神経疾患の後に
- 嚥下障害に
- ことばや言語の発達に支援が必要な子どもたちに

言語療法

名前の由来

脳卒中の後、Dさんは言葉が見つかりませんでした。言語療法では、音、音節、絵といった小さなことから始めました。再びはっきりと口にできた最初の言葉は、妻の名前でした。妻はそれを冷蔵庫に貼りました。

最初の言葉は、妻の名前でした。

言語療法（子ども）

レオンはジョークを言う

レオンは6歳。長い間、自分の言いたいことを伝えるのに苦労していました。保育園では黙り込んでしまいました。言語療法では遊び、韻を踏み、笑いながら、自然に練習を重ねました。今ではレオンはジョークを言います。たいていは同じ3つ。それでも両親は毎回笑います。

たいていは同じ3つ。

知っておきたいこと

言語療法を受けるには。

言語療法は医師の処方により、かかりつけ医と相談のうえ受けられます。ご予約・ご質問は本部事務所までどうぞ。

訪問看護

住み慣れた家で。しっかりと見守られて。

Dortmund 全域でケアを提供しています — Eving から Hörde まで。

- 基本介護と医療的ケア
- 日常生活のサポートと要介護度（Pflegegrad）のご相談
- あなたを知る、決まったチーム

知っておきたいこと

決まったチーム。

Dortmund 全域、Eving から Hörde まで、あなたを知るチームがケアを担当します。

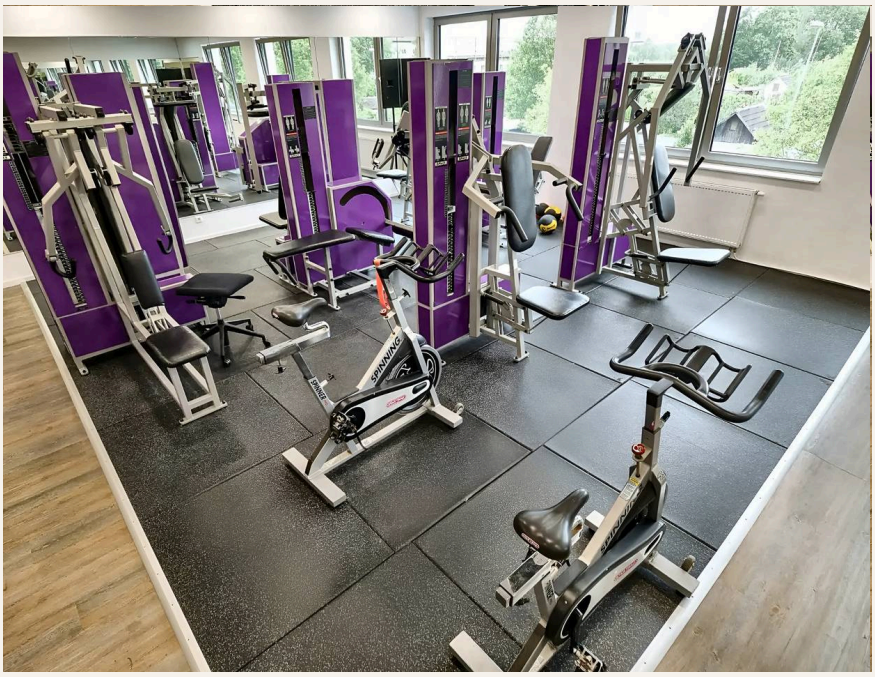
理学療法

動ける体を保つ。自立して暮らす。

クリニック、ご自宅、介護施設で患者さんを治療しています。

理学療法：痛みを和らげ、筋力をつけ、より安全に歩くことを目指します。

子ども、大人、高齢の方に



トレーニングエリア（Schützenstraße 150）

知っておきたいこと

すべての年代に。

子ども、大人、高齢の方のための理学療法 — クリニック、ご自宅、介護施設で。

作業療法

着替えから料理まで、日常生活をこなす。

できるだけ長く、日常生活を自分の力で。

季節のヒント

冬を安全に過ごすために

滑りやすい道、早い日暮れ、濡れた落ち葉。冬は玄関を出てすぐの所に転倒の危険が潜んでいます。ちょっとした工夫で、毎日がより安全になります。

良い靴を：郵便受けまでのちょっとした距離でも、滑りにくい靴底のしっかりした靴を。

明るさを十分に：廊下、階段、玄関は明るく保ちましょう。夜は小さな常夜灯が役立ちます。

落ち着いて歩く：歩幅は小さく、手はポケットから出して。路面が凍っているときは、予定を延期するほうが安全です。

体を動かし続ける：筋力とバランスは、しっかり立つための支えになります。どの運動が合っているかは、医師やセラピストに相談するのがいちばんです。

現場から

一歩ずつ。

約4年前に私たちがMさんと出会ったとき、彼女の住まいが世界のすべてでした。そして、それさえも広すぎました。ベッドから台所まで、手と膝をついて移動するのがやっとでした。「外のことを考えるのは、もうやめていました」と彼女は今、語ります。

最初から、看護・介護、理学療法、作業療法が一緒に彼女のもとを訪れました。看護・介護は日常生活の安全を確保しました。理学療法は筋力とバランスに取り組みました。最初は座って、次に立って、それから歩行器を使って。作業療法では、普段は練習などしないことを一緒に練習しました。起き上がること、服を着ること、やかんに手を伸ばすこと。

順調な週もあれば、つらい週もありました。それでもある日、セラピストに付き添われて、初めて階段室に立ちました。その後、付き添いの人と一緒に角まで歩きました。

そしてある朝、彼女から電話があり、ひと言こう言いました。「パン屋さんに行ってきたの。ひとりで。」

今日、Mさんは自分の道を歩いています。ゆっくりと、自分のペースで。でも、それは彼女自身の道です。

仮名です。経過は一人ひとり異なります。

「パン屋さんに行ってきたの。ひとりで。」

現場から

ご家族の体験談。

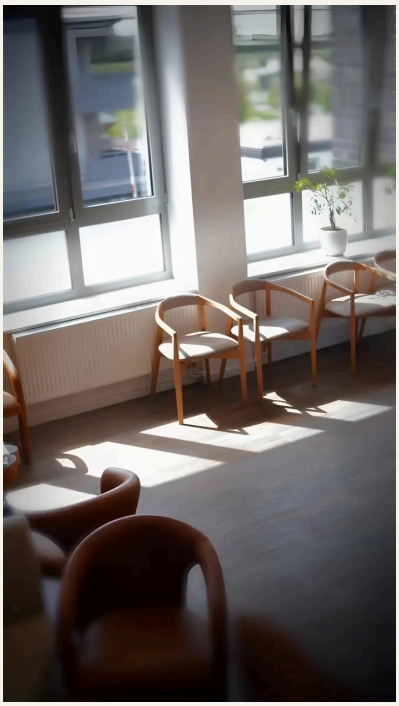
母親が退院して家に戻ったとき、Kさんの手元には書類でいっぱいのファイルがあるだけで、何の見通しもありませんでした。要介護度、介護保険、セラピーの予約 — そこに自分の仕事と2人の子ども。「夜、台所のテーブルに座って、ただそのファイルを見つめていました」と彼女は語ります。

Corpus Callosum への最初の電話は短いものでした。2回目はそうではありませんでした。誰かが時間をとって、一緒に書類を整理し、そしてふと尋ねたのです。「それで、あなた自身はお元気ですか？」彼女はしばらく言葉が出ませんでした。

今では看護・介護とセラピーがひとつの事業者から提供され、予約も調整されています。母親に何か変化があれば、Kさんが5人に電話しなくても、みんなに伝わります。そして夏、久しぶりに1週間出かけたときは、代替介護（Verhinderungspflege）が引き継ぎました。

「また娘に戻れました」と彼女は言います。「ただの段取り係ではなく。」

仮名です。経過は一人ひとり異なります。



私たちの待合スペース

「また娘に戻れました。ただの段取り係ではなく。」

ご家族の方へ

あなたも、ひと息ついていいのです。

在宅での介護は大変です — その一部を私たちが引き受けます。

- ひと息つきたいときの代替介護
- 介護保険給付のご相談
- あなたの質問にも、耳を傾けます

とても簡単です

1 お電話またはメッセージで
2 お互いを知ります
3 一緒にスタートします

生活を取り戻す。

このストーリーに登場するのは

4つの小さな目標。

またコーヒーを入れる、家庭菜園に戻る、自分の薬を母語で理解する、蝶結びをする。作業療法、理学療法、看護・介護の現場から。

作業療法

孫たちにコーヒーを

脳卒中の後、Aさんは日曜日にコーヒーを入れることができなくなりました。それは腕のこと以上に、彼女にとってつらいことでした。作業療法で彼女はまさにそれを練習しました。缶を開ける、スプーンを持つ、ポットを持ち上げる。春のある日曜日、彼女は再びコーヒーメーカーの前に立っていました。

おばあちゃんが日曜日にまたコーヒーを入れる。

理学療法

再び庭へ

転倒の後、Kさんは雑草が伸びるのを窓から眺めることしかできませんでした。理学療法の目標はひとつ — 彼自身の目標である、トマトのもとへ戻ること。翌年の夏、彼は再び家庭菜園に立っていました。最初のトマトは担当のセラピストに贈られました。

最初のトマトは彼女に。

看護・介護、言語

母語で

Yさんは自分の薬のことが分かりませんでした。説明は速すぎて、しかもドイツ語だったのです。そこへ彼の母語を話す看護師が来て、何をいつ、何のために飲むのかを落ち着いて説明しました。久しぶりに、彼は自分の人生の中でよそ者だと感じなくなりました。

自分の人生の中で、もう客ではない。

作業療法（子ども）

ミアは靴ひもを結ぶ

ミアは9歳。もうマジックテープの靴はいやでした。でも蝶結び、鉛筆、はさみは彼女には難しいものでした。作業療法では、どの練習も遊びになりました。ある朝、彼女は誇らしげに自分の足を指さしました。「自分でできたよ。」蝶結びは曲がっていました。でも、まったく問題ありませんでした。

蝶結びは曲がっていた。でも、まったく問題なかった。

登場人物は仮名です。経過は一人ひとり異なります。

介護施設の皆さまへ

入居者の皆さまのもとへ伺います。

決まった担当セラピスト、確実な予約

看護スタッフとの迅速な連携

看護チームへの指導（例：腰に負担をかけない移乗や離床の方法）。

施設内でのセラピー — 看護チームと緊密に連携して。

私たちの会議室

訪問

ご自宅にも伺います。

理学療法と作業療法は、医師の処方により、クリニック、ご自宅、介護施設で受けられます。

- 訪問対応（介護施設を含む）
- 調整された予約

健康の世界からのニュース

健康保険：2027年の平均追加保険料は据え置き

年明けにうれしいお知らせです。専門家の予測（GKV Schätzerkreis、公的医療保険の見積委員会）によると、2027年の平均追加保険料（Zusatzbeitrag）は2.9パーセントに据え置かれます。ただし、これはあくまで目安で、各健康保険組合が自らの加入者の保険料を決定します。加入している組合が保険料を引き上げる場合は通知する義務があり、あなたには特別解約権があります。

出典：連邦保健省/連邦社会保障庁、2026年10月時点

高齢者の予防接種

予防接種常設委員会（STIKO）は、60歳以上のすべての方に毎年のインフルエンザ予防接種を推奨しています。高齢者向けの特別なワクチン（高用量ワクチンまたはアジュバント添加ワクチン）を用います。75歳以上の方には、RSV に対する1回の予防接種も推奨されています。重い基礎疾患のある方や介護施設に入居している方は60歳から対象です。今から接種する意味があるかどうかは、かかりつけ医に相談するのがいちばんです。

出典：ロベルト・コッホ研究所/STIKO、2026年9月時点

私たちのチーム

だから私たちはこの仕事をしています。

大きな瞬間は、めったにありません。ある朝、誰かが久しぶりに一人で玄関まで歩けたこと。ある午後、手がまたコーヒーカップを持てたこと。長い間出てこなかった言葉が戻ってきたときの笑顔。

私たちの看護師やセラピストは、こうした瞬間を毎日経験し、仲間に伝えます。休憩中に、廊下で、訪問の引き継ぎのときに。私たちのところでは看護とセラピーが連携しているので、最後に喜ぶのは一人だけではなく、チーム全員なのです。

だから私たちは早起きします。だから雪の日も雨の日も車を走らせます。そしてだから、翌日もまた喜んで伺うのです。

最後には、チーム全員が喜びます。

私がここで働く理由

アナ、看護師。

Dortmund に着いたとき、私が持っていたのはスーツケースと母国の卒業証書、そしてたくさんの疑問でした。チームは資格の認定、書類の手続き、そして新しい生活になじむことを手伝ってくれました。ここで私は、ただの同僚ではありません。ここが私の居場所です。

仮名です。

一緒に働く

仲間になりませんか。

看護、理学療法、作業療法、言語療法 — 海外からの専門職の方も歓迎します。資格認定や生活の立ち上げもサポートします。

ecorpusjobs.de · bewerbung@ecorpus.de

介護助手（資格のない方を含む）

家事スタッフ

看護師

実習指導者（Praxisanleiter）

看護サービス管理者（集中治療の資格を持つ方を含む）

介護施設、病院、看護サービスの皆さまへ

シフトが回らないときに。

Corpus Callosum の人材派遣 — 看護・介護と家事サービス、介護助手から看護サービス管理者（PDL）まで。

日曜の夜に病欠の連絡、月曜の勤務表に穴。介護施設や病棟の責任者なら誰もが知っている感覚です。

そのために私たちの人材派遣があります。私たちの人材プールには、看護・介護と家事のあらゆる業務に対応できる人がいます。資格の有無を問わない介護助手、家事スタッフ、看護師、そして集中治療の専門研修を受けた看護サービス管理者まで。

勤務表が再び回るように。

また訪問看護サービスの皆さまへ：実習生に実習指導者が必要な場合も、私たちがご紹介します。

私たちは看護を内側から知っています。毎日自分たちで行っているからです。だから、あなたの病棟や居住ユニットで何が大切かを理解し、腕まくりして働く人材をお送りします。

お問い合わせ：ecorpuspersonal.de

Arbeitnehmerüberlassung durch die Corpus Callosum Dienstleistungsgesellschaft mbH, Erlaubnis der Agentur für Arbeit Düsseldorf.

Googleのクチコミ。

4,8

（5点満点）Googleのクチコミ99件 · 2026年10月時点

ご満足いただけましたか？Googleで評価してください。

Bochum
Witten
Schwerte
Unna
Bergkamen

私たちは成長しています — 地域のパートナーとともに。

訪問看護サービスを運営していて、日々の業務でもっとサポートがほしいとお考えですか？Corpus Callosum のフランチャイズパートナーになると、請求業務、研修、MD監査（医療サービスによる審査）、人材まで、ワンストップでサポートを受けられます。

その他の地域はご相談ください。

お問い合わせ：info@ecorpus.de · 0231 58 69 26 00

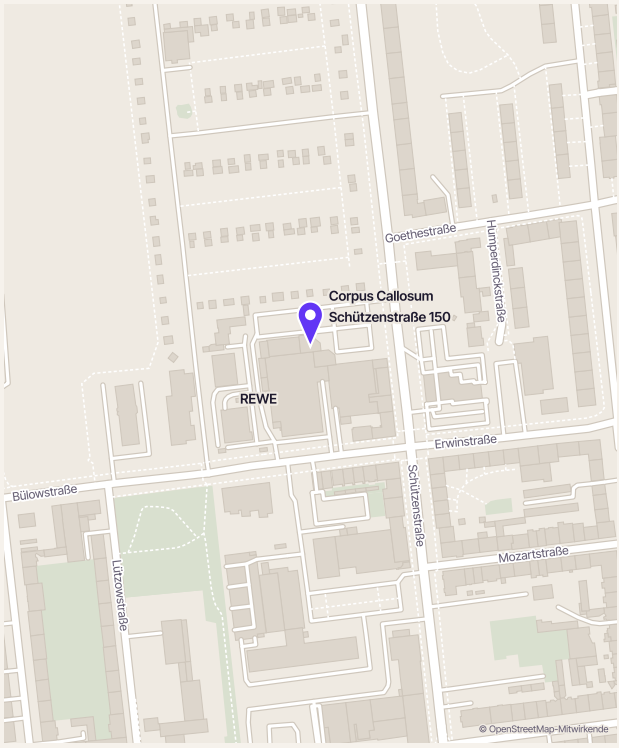
お電話ください。お話をうかがいます。

ecorpus.de

0231 58 69 26 00

Corpus Callosum GmbH
Schützenstraße 150 · 44147 Dortmund
Bülowstraße の REWE スーパーのすぐ上
ecorpus.de

入口（Schützenstraße 150）



アクセス

Schützenstraße 150 · 44147 Dortmund

ルートを調べる

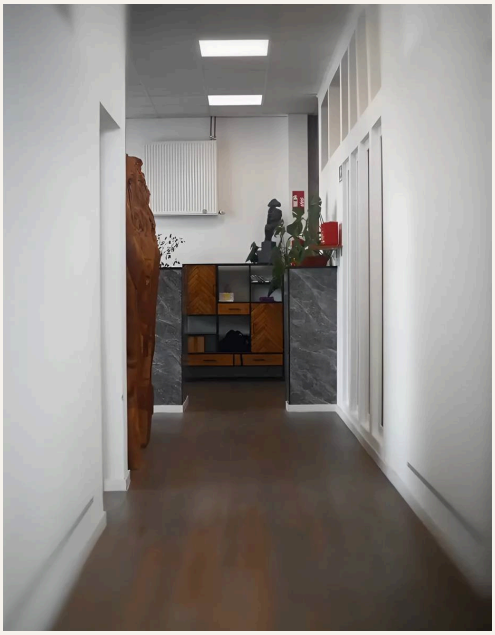
Instagram @ecorpus.de · X @ecorpus_de · Facebook „Corpus Callosum Dortmund“

法的情報

Corpus Quartal · 2027年 冬号
Herausgeberin: Corpus Callosum GmbH, Schützenstraße 150, 44147 Dortmund
Verantwortlich für den Inhalt: Ümit Ünsal, Schützenstraße 150, 44147 Dortmund
Amtsgericht Dortmund HRB 31352 · Zuständige Aufsichtsbehörde: Gesundheitsamt Dortmund
Impressum online: ecorpus.de/impressum

この雑誌のストーリーは実話に基づいています。名前は変更しており、経過は一人ひとり異なります。

写真：Corpus Callosum、Pexels。Pexels の写真にはモデルが写っています。



廊下（Schützenstraße 150）

私たちのコーヒーバー

訪問看護 · 理学療法 · 作業療法 · 言語療法

0231 58 69 26 00

Schützenstraße 150 · 44147 Dortmund · ecorpus.de

Corpus Callosum

Pflege · Therapie · Ruhrgebiet